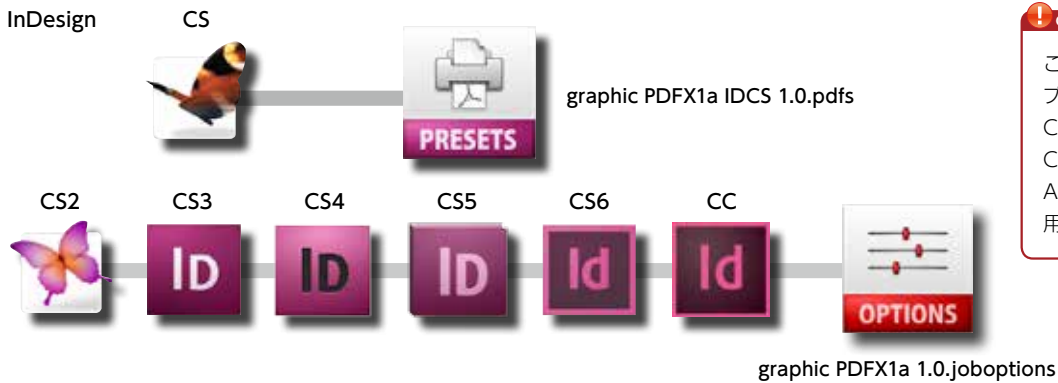


InDesign では PDF 書き出し時の設定が保存されたプリセットファイルをインストールすることにより、毎回設定する手間を省き、書き出し作業の効率化を図ることができます。プリセットファイルは当社ホームページにて提供しています。



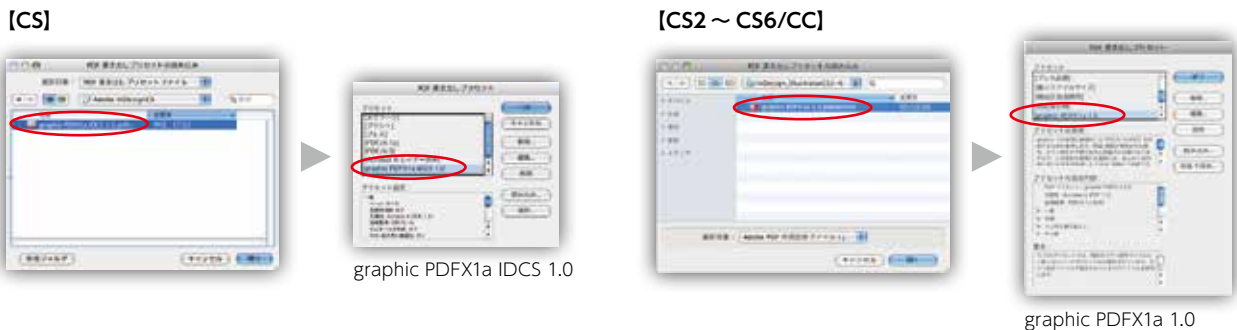
Check Point
 このページで紹介するプリセットはInDesign CS、InDesign・Illustrator CS2～CS6/CC専用です。Acrobat Distillerでは使用しないでください。

設定方法

STEP 1 ファイルメニューから PDF 書き出しプリセット、定義を選択します。PDF 書き出しプリセットが表示されますので、読み込みボタンをクリックします。



STEP 2 PDF 書き出しプリセットの読み込み画面で、ダウンロードしたプリセットファイルを選択することにより、プリセットが追加されます。



Check Point
 プリセットは一度インストールすれば再設定をする必要はありません。またプリセットはInDesignに読み込まれますので、ダウンロードしたプリセットファイルを同じ場所に残しておく必要はありません。

STEP 3 これで InDesign の PDF プリセットから [graphic PDFX1a 1.0] または [graphic PDFX1a IDCS 1.0] が選択できるようになります。

ここでは InDesign CS/CS2/CS3 より PDF/X-1a 形式の PDF ファイルを作成するにあたり、新規ドキュメントを作成の際に必要な項目について記述します。また PDF 作成前のプリフライトによるチェックについても触れます。

STEP 1 ここでは冊子印刷を例に新規ドキュメントを作成します。

●新規ドキュメントウィンドウ

- ① ページ数 : 表紙と裏表紙を含めたページを入力します。
- ② 見開きページ : 冊子にする場合は必ずチェックします。
- ③ ページサイズ : 綴じたときの仕上がりのサイズを入力します。
- ④ 方向 : 縦向きか横向きかボタンをクリックします。
- ⑤ 綴じ方 : 右綴じか左綴じかを選択します。
- ⑥ 裁ち落とし : 天、地、ノド、小口それぞれに 3mm を入力します (デフォルトのまま)。
- ⑦ 印刷可能領域 : 天、地、ノド、小口それぞれに 0mm を入力します (デフォルトのまま)。

以上の入力を確認して『マージン/段組』ボタンをクリックします。



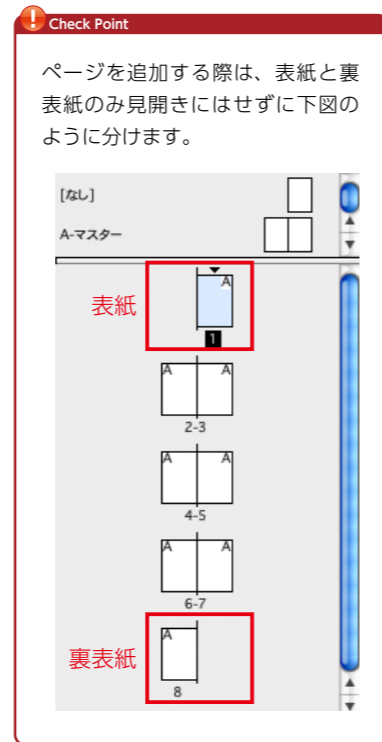
●新規マージン/段組ウィンドウ

- ⑧ マージン : 必要に応じて天、地、ノド、小口の数値を入力します。
- ⑨ 段組 : 必要に応じて段組みの数と段組み間の空き数値を入力します。必要がなければデフォルトのままでもかまいません。
- ⑩ 組み方向 : 縦組みか横組みかを選択します。

以上の入力を確認して『OK』ボタンをクリックします



以上で新規ドキュメントのサイズに関する設定は終了です。



Check Point
パンフレット印刷 (糊綴じ、中綴じの表紙は除く)、CD ジャケット印刷 (中綴じを除く) はドキュメントを展開サイズで作成してください。

STEP 2 PDF ファイルを作成する前に『プリフライト』を実施して必要な要件が揃っているかをチェックします。
以下では特にフォントとリンクファイルについて触れてみます。



●プリフライト/フォント

ドキュメント上に使用されているフォントが揃っているかを確認します。



OK の例 ドキュメントに使用されているフォントが認識しています。



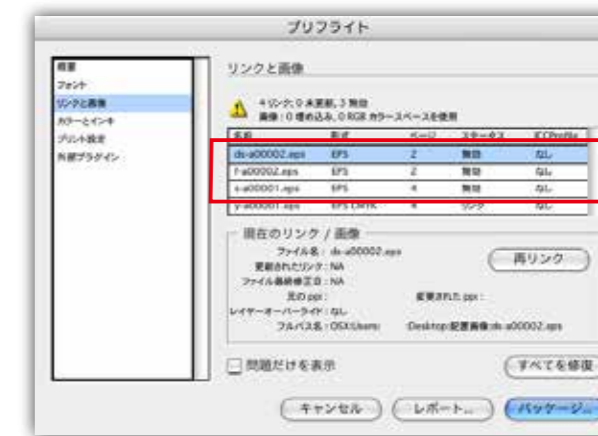
NG の例 赤枠で囲んだフォントが PC にインストールされていないため認識していません。

●プリフライト/リンクと画像

ドキュメント上に使用されている画像が揃っているかを確認します。



OK の例 ドキュメント上に使用されている画像のリンクが有効になっています。



NG の例 赤枠で囲んだ画像のリンクが無効になっています。

以上を確認して OK ならば『パッケージ』をクリックして必要ファイルを収集して保存します。これで PDF/X-1a を作成する条件が揃いました。

ここでは InDesign CS4/CS5/CS6/CC より PDF/X-1a 形式の PDF ファイルを作成するにあたり、新規ドキュメントを作成する際に必要な項目について記述します。また PDF 作成前のプリフライトによるチェックについても触れます。

STEP 1 ここでは冊子印刷を例に新規ドキュメントを作成します。

●新規ドキュメントウィンドウ

- ① **ドキュメントプロファイル**：プリントを選択します。
- ② **ページ数**：表紙と裏表紙を含めたページを入力します。
- ③ **開始ページ番号**：1 を入力します（デフォルトのまま）。
- ④ **見開きページ**：冊子にする場合は必ずチェックします。
- ⑤ **ページサイズ**：綴じたときの仕上がりサイズを入力します。
- ⑥ **方向**：縦向きか横向きかボタンをクリックします。
- ⑦ **綴じ方**：右綴じか左綴じかを選択します。
- ⑧ **裁ち落とし**：天、地、ノド、小口それぞれに 3mm を入力します（デフォルトのまま）。
- ⑨ **印刷可能領域**：天、地、ノド、小口それぞれに 0mm を入力します（デフォルトのまま）。

以上の入力を確認して『マージン/段組』ボタンをクリックします。



●新規マージン/段組ウィンドウ

- ⑩ **マージン**：必要に応じて天、地、ノド、小口の数値を入力します。
- ⑪ **段組**：必要に応じて段組みの数と段組み間の空き数値を入力します。必要がなければデフォルトのままでもかまいません。
- ⑫ **組み方向**：縦組みか横組みかを選択します。

以上の入力を確認して『OK』ボタンをクリックします

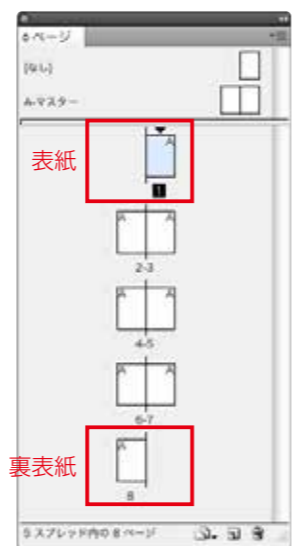


以上で新規ドキュメントのサイズに関する設定は終了です。



Check Point
「ドキュメントプロファイル」「開始ページ番号」は CS5 以降の設定項目です。

Check Point
ページを追加する際は、表紙と裏表紙のみ見開きにはせず下図のように分けます。



Check Point
パンフレット印刷（糊綴じ、中綴じの表紙は除く）、CD ジャケット印刷（中綴じを除く）はドキュメントを展開サイズで作成してください。

STEP 2 PDF ファイルを作成する前に『プリフライト』を実施して必要な要件が揃っているかをチェックします。以下では特にフォントとリンクファイルについて触れてみます。



InDesign CS4/CS5/CS6/CC ではデザインしながら問題点をリアルタイムに警告してくれる『ライブプリフライト』が搭載されています。

P38 へ

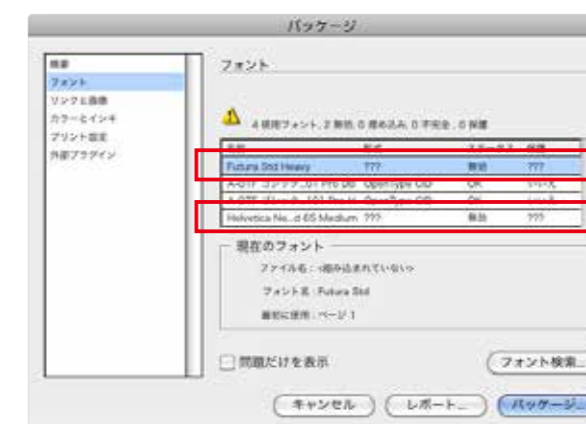


●プリフライト/フォント

ドキュメント上に使用されているフォントが揃っているかを確認します。



OK の例 ドキュメントに使用されているフォントが認識しています。



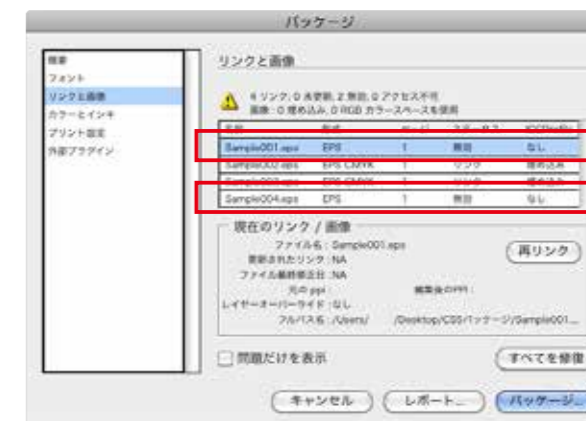
NG の例 赤枠で囲んだフォントが PC にインストールされていないため認識していません。

●プリフライト/リンクと画像

ドキュメント上に使用されている画像が揃っているかを確認します。



OK の例 ドキュメント上に使用されている画像のリンクが有効になっています。



NG の例 赤枠で囲んだ画像のリンクが無効になっています。

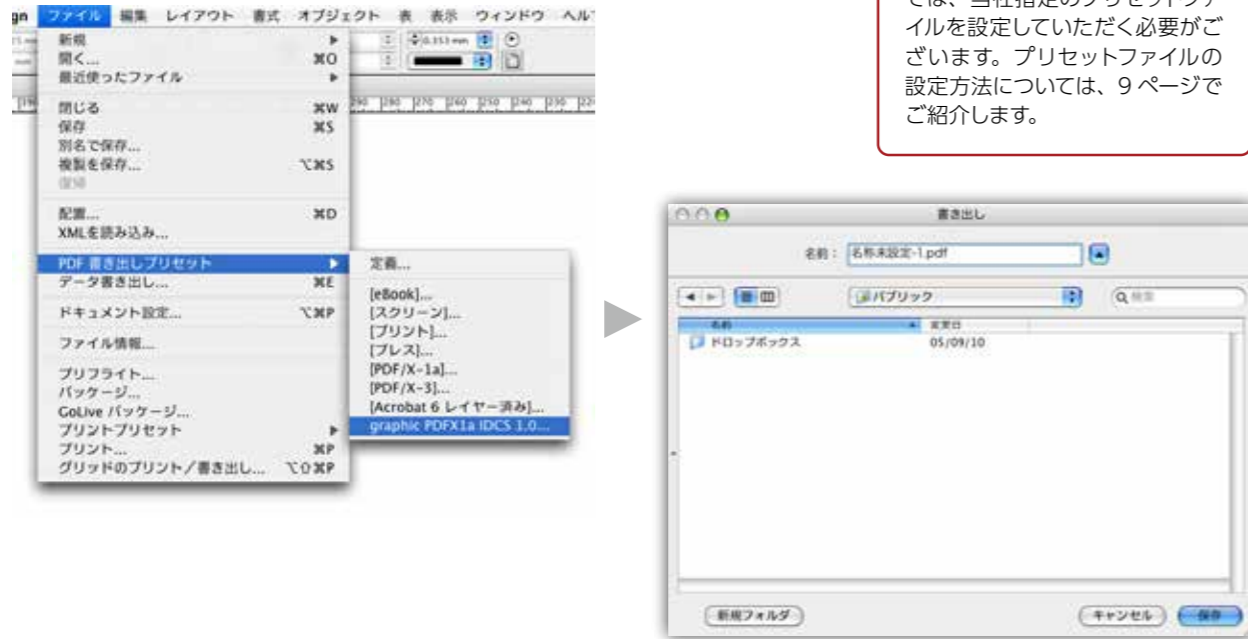
以上を確認して OK ならば『パッケージ』をクリックして必要ファイルを集めて保存します。これで PDF/X-1a を作成する条件が揃いました。

P32 へ

ここではInDesign CSよりPDF/X-1a形式のPDFファイルを作成する方法を記述します。

STEP 1 当社推奨のPDF/X-1aを書き出すプリセットファイル『graphic PDFX1a IDCS 1.0』を選択して、PDFファイルの保存先を指定します。

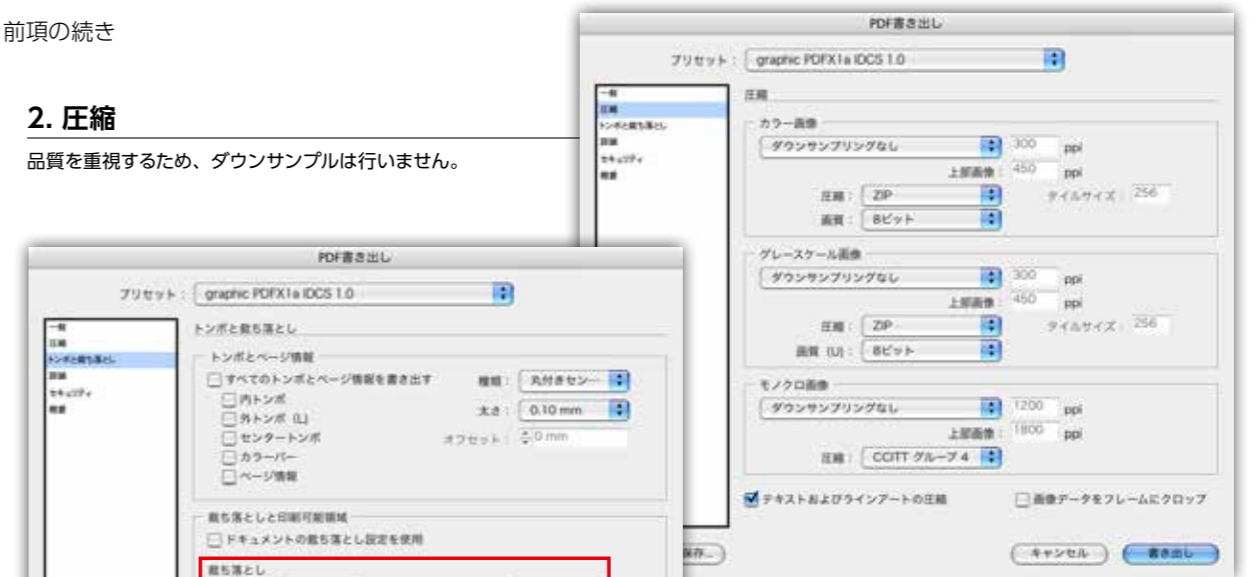
Check Point
PDF書き出しプリセットファイル『graphic PDFX1a IDCS 1.0』では、当社指定のプリセットファイルを設定していただく必要がございます。プリセットファイルの設定方法については、9ページでご紹介します。



STEP 2 前項の続き

2. 圧縮

品質を重視するため、ダウンサンプルは行いません。



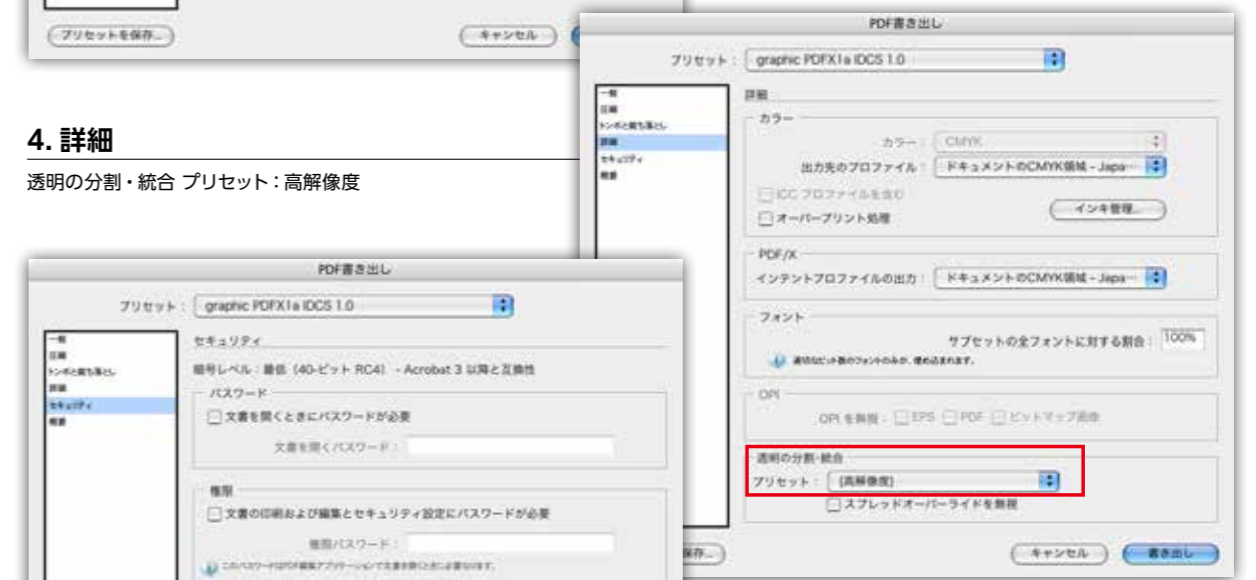
3. トンボ裁ち落とし

トンボ : チェックを外す
裁ち落とし : 天地左右いずれも 3mm

STEP 2 PDF書き出しダイアログの設定が以下であることを確認して『書き出し』ボタンをクリックします。

4. 詳細

透明の分割・統合 プリセット : 高解像度

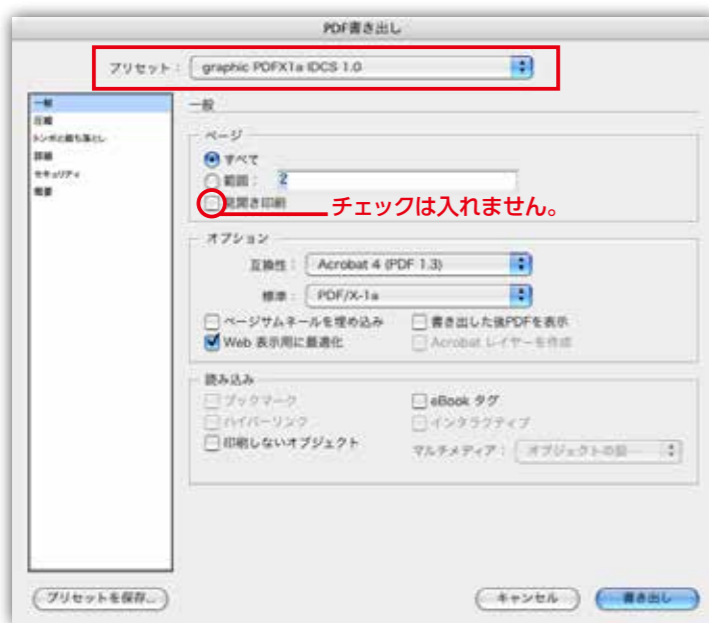


5. セキュリティ

設定しません。

1. 一般

プリセット : graphic PDFX1a IDCS 1.0
見開き印刷 : チェックは入れません。



以上で PDF/X-1a 形式の PDF ファイルが作成されます。

プリフライトチェック!
P39へ

ここでは InDesign CS2/CS3/CS4/CS5/CS6/CC より PDF/X-1a 形式の PDF ファイルを作成する方法を記述します。

STEP 1 当社推奨の PDF/X-1a を書き出すプリセットファイル『graphic PDFX1a 1.0』を選択して、PDF ファイルの保存先を指定します。

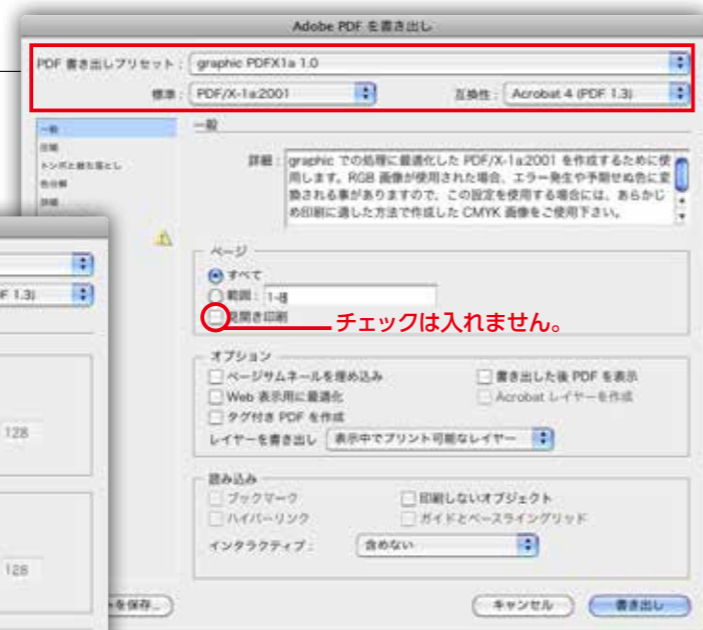
Check Point
PDF 書き出しプリセットファイル『graphic PDFX1a 1.0』では、当社指定のプリセットファイルを設定していただく必要がございます。プリセットファイルの設定方法については、9 ページでご紹介します。



STEP 2 PDF 書き出しダイアログの設定が以下であることを確認して『書き出し』ボタンをクリックします。

1. 一般

PDF 書き出しプリセット : graphic PDFX1a 1.0
標準 : PDF/X-1a:2001
互換性 : Acrobat4 (PDF 1.3)
見開き印刷 : チェックは入れません。



見開き印刷 チェックは入れません。

2. 圧縮

品質を重視するため、ダウンサンプルは行いません。

STEP 2 前項の続き

3. トンボ裁ち落とし

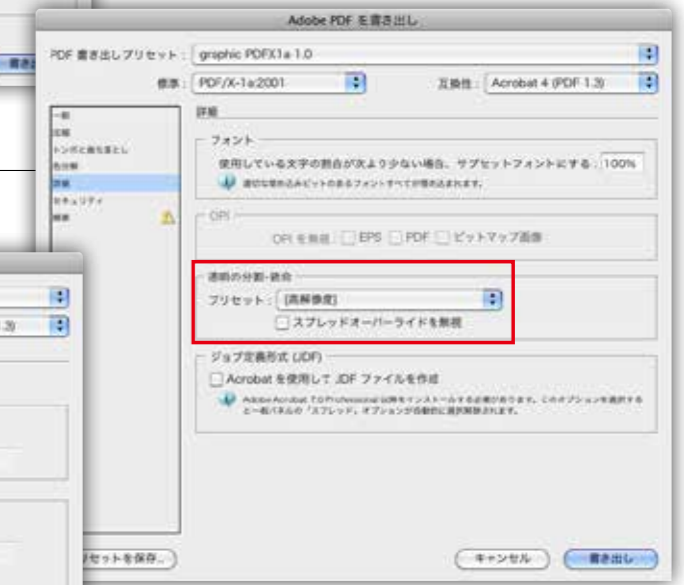
トンボ : チェックを外す
裁ち落とし : 天地左右いずれも 3mm



4. 色分解

5. 詳細

透明の分割・統合 プリセット : 高解像度



6. セキュリティ

設定しません。

Check Point
概要の「このプリセットでは、現在のカラー設定ファイルと一致しないソースプロファイルが指定されています。カラー設定ファイルで指定されているプロファイルを使用します。」の警告はそのまま進めてください。

以上で PDF/X-1a 形式の PDF ファイルが作成されます。

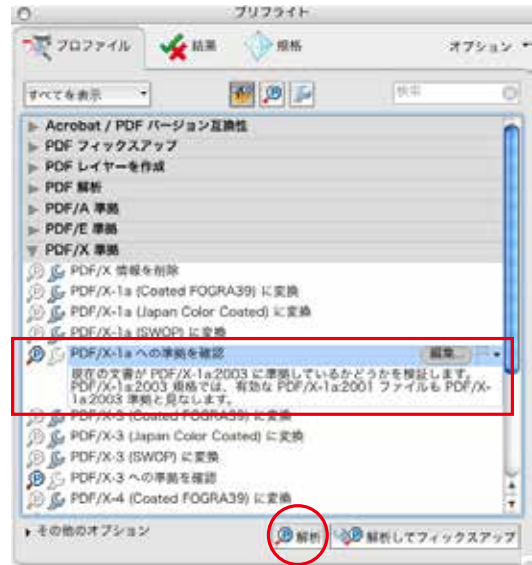
プリフライトチェック!

P39 へ

作成した PDF が、PDF/X-1a2001 に準拠しているかを Acrobat(7/8/9/X/XI) Professional で確認ができます (Illustrator CS で作成した PDF を除く)。

STEP 1 検証するファイルを開き、アドバンスメニュー (Acrobat X/XI はツールの印刷工程) から「プリフライト」を選択します。プリフライト画面が表示されますので、「PDF/X-1a への準拠を確認」を選択し解析します。

Acrobat 7/8/9



Acrobat X/XI



STEP 2 解析が終了後、結果が表示されます。結果がエラーとなった場合、「スナップビューで表示」にて、いずれかの問題箇所をクリックすると、その部分を別ウィンドウで表示させることができます。

OK



NG



Check Point

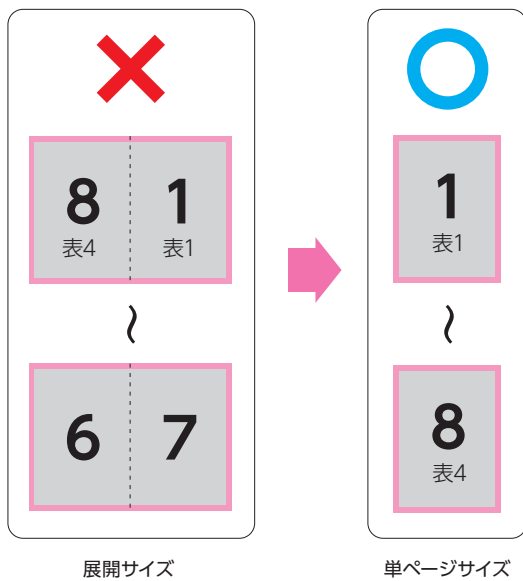
「PDF/X-1a への準拠を確認」では、塗り足しや特色の有無、画像解像度は確認できません。データ作成時にご注意ください。

冊子、折パンフレット印刷時のPDFについて

冊子印刷は見開きではなくページ単位でPDFを作成してください。折パンフレット印刷（糊綴じ、中綴じの表紙は除く）、CDジャケット印刷（中綴じを除く）は展開サイズで作成してください。

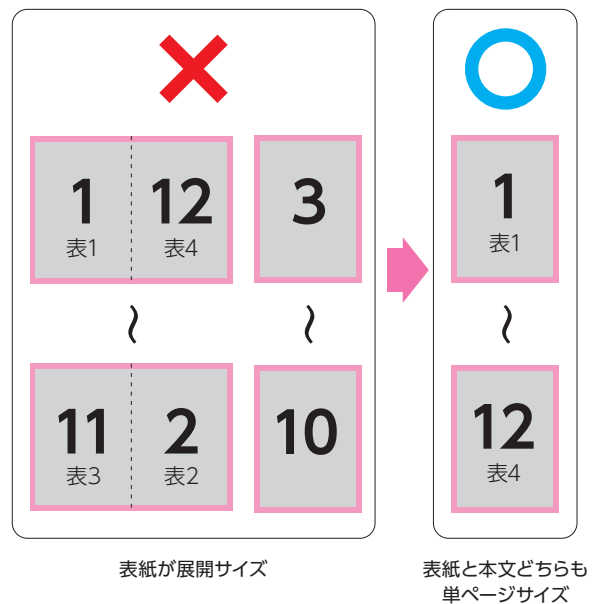
【中綴じ冊子印刷（8P・左綴じ）の場合】

中綴じ冊子印刷は見開きではなくページ単位でPDFを作成してください。



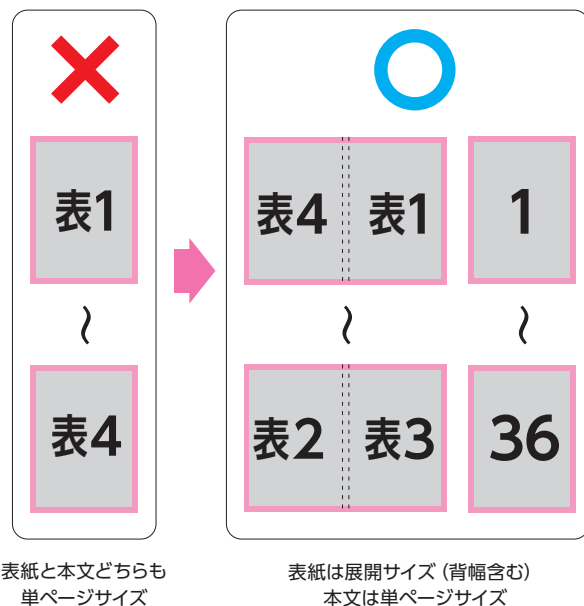
【中綴じ冊子印刷（12P・右綴じ・表紙別紙）の場合】

中綴じ冊子印刷の表紙別紙は中綴じ冊子印刷（本文）+パンフレット印刷（表紙）でご注文をいただきますが、PDFを作成される場合は表紙、本文ともにページ単位で作成してください。



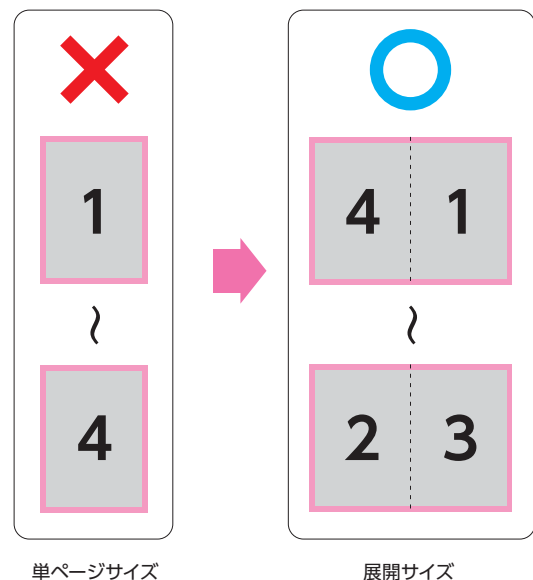
【本文：36P無線綴じ冊子印刷（36P・左綴じ） +表紙：カード印刷の場合】

無線綴じ冊子印刷の本文は単ページサイズ、表紙は背幅も含めた展開サイズでPDFを作成してください。



【折パンフレット印刷（4P二つ折・左開き）の場合】

パンフレット印刷は単ページではなく展開サイズでPDFを作成してください。

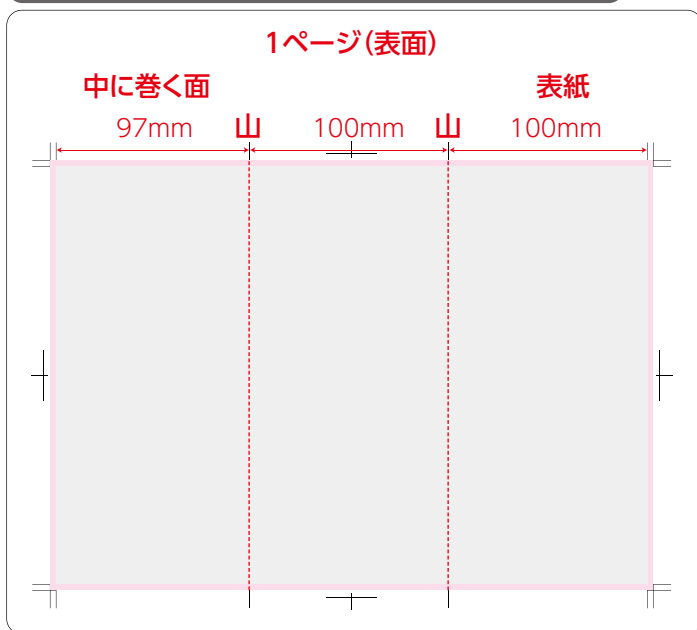


加工指示書、表裏の付け合わせについて

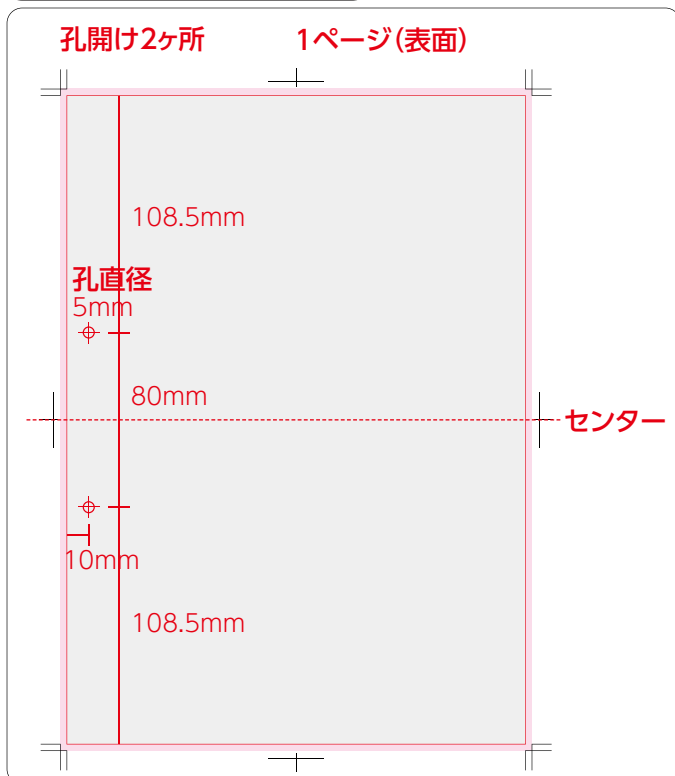
PDFをWEB入稿する際は、別ファイルにて加工指示書を添付していただく必要があります。

加工指示書は以下の例をもとに作成してください。表裏の付け合わせにご指示がある場合は「天」「地」をご記載ください。ご指示がない場合は右図「表裏の付け合わせ」となります。

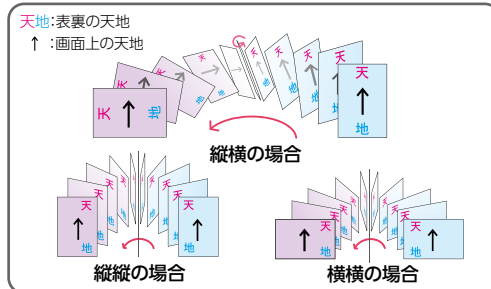
折り加工 A4フライヤー・巻三つ折りの場合



孔開け加工 2カ所の場合



表裏の付け合わせ



ページ(ファイル名)

指示の起点となるPDFファイル上のページをご指示ください。表裏別ファイルで作成された場合はファイル名に「表面」、「裏面」を付加してください。

折トンボ

折り位置を折トンボにてご指示ください。

表紙位置等

加工後の表紙面、中に巻かれる面をご指示ください。外三つ折など均等ピッチの場合でも「表紙面」をご記入ください。

折幅(ピッチ)

折幅を数値にてご指示ください。

折り方向

折の方向を「山」、「谷」でご指示ください。

ページ(ファイル名)

指示の起点となるPDFファイル上のページをご指示ください。表裏別ファイルで作成された場合はファイル名に「表面」、「裏面」を付加してください。

加工数

孔開け加工が何ヶ所かご指示ください。

孔の直径

当社が対応している孔の直径をご指示ください。

孔位置

十字や○などで加工位置をご指示ください。数値は仕上がりから孔のセンターまでの距離、2カ所であれば、孔のセンターからもう一方の孔のセンターまでの距離をご記載ください。

※加工指示は、印刷データとは別ファイル (Illustrator や画像など) にて作成してください。印刷データに加工指示があった場合、そのまま印刷されますのでご注意ください。

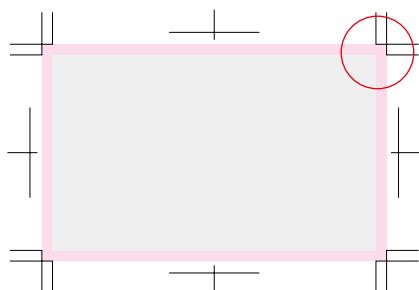


入稿前の必須チェック項目

前項からの続き

角丸加工 角丸半径3mm 1ヶ所の場合

角丸半径3mm 1ヶ所 1ページ(表面)



ページ(ファイル名)

指示の起点となるPDFファイル上のページをご指示ください。表裏別ファイルで作成された場合はファイル名に「表面」、「裏面」を付加してください。

加工数

角丸加工が何カ所かご指示ください。

加工位置

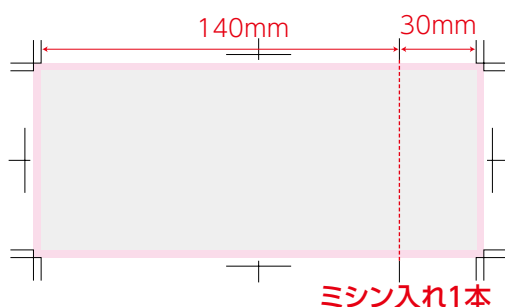
角丸位置を○にてご指示ください。

角丸半径

当社対応の角丸半径をご指示ください。

ミシン入れ加工 A5変型フライヤー 仕上がりサイズ:70×170(mm)の場合

1ページ(表面)



ページ(ファイル名)

指示の起点となるPDFファイル上のページをご指示ください。表裏別ファイルで作成された場合はファイル名に「表面」、「裏面」を付加してください。

加工数

ミシン入れ加工が何本かご指示ください。

加工位置

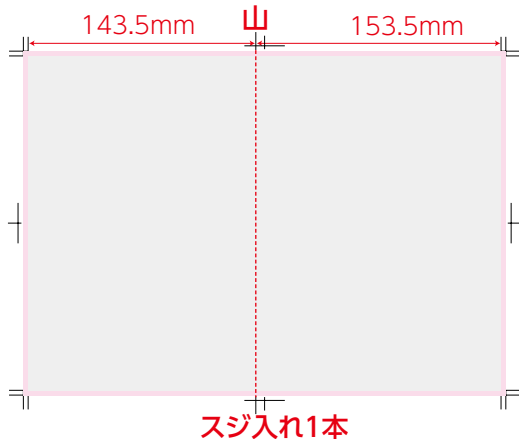
ミシン入れ加工位置をトンボにてご指示ください。

ピッチ

仕上がりから加工位置までの距離を数値にてご指示ください。

スジ入れ加工 例) A4変型カード 仕上がりサイズ:297×210(mm)の場合

1ページ(表面)



ページ(ファイル名)

指示の起点となるPDFファイル上のページをご指示ください。表裏別ファイルで作成された場合はファイル名に「表面」、「裏面」を付加してください。

加工箇所

スジ入れ加工が何本あるかご指示ください。

加工位置

スジ入れ加工位置をトンボにてご指示ください。

ピッチ

仕上がりから加工位置までの距離を数値にてご指示ください。

折り方向

スジ入れ加工には山折り、谷折りのご指示が必要です。折の方向を「山」、「谷」でご指示ください。

※スジ入れは「凹」側が山折り(表側)となります。

